

# 学校だより

横浜市情報ネットワーク（Yネット）上に本校のホームページがあります。

横浜市立十日市場小学校  
春休み直前号  
令和3年3月26日（金）  
緑区十日市場町1392-1番地  
電話：981-0420・7119  
FAX：983-1694

転ぶたびに、起き上がる強さを…

校長 平田 あや

学校の周りの桜が満開になった3月23日、6年生が卒業式を終え立派に巣立っていきました。今年度は、新型コロナウイルス感染症のため、一斉臨時休業から始まり、様々な活動も中止や縮小になりました。けれども、6年生の子どもたちは、いつも前を向き今できることに精一杯取り組む姿を見せてくれました。厳かな雰囲気の中で、一人ひとりが卒業証書をしっかりと受け取りました。自覚や決意を胸に秘めた子どもたちの瞳の輝きや表情の美しさは、感動すら覚えるものでした。

式辞では、「人生を生き抜く強さをもってほしい」という願いを込めて、次のようなメッセージを贈りました。

## 卒業式式辞（抜粋）

浅い春のやわらかな風に、桜の花びらが、心地よさそうに揺れています。このような穏やかな日に、門出の時を迎えた130名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんの最高学年としてのスタートは6月1日でした。3か月にも及ぶ臨時休業。学校再開後も、日々の活動にはたくさんの制限がありました。それでも、皆さんは、最高学年としての後ろ姿を、常に下級生に示してくれていました。「登校班で優しくしてくれてありがとう。」「運動会のソーラン節がかっこよかった。6年生になったら、あんなふうに踊りたい。」下級生からのメッセージには、皆さんへの感謝の思い、憧れの気持ちが、たくさん綴られていました。

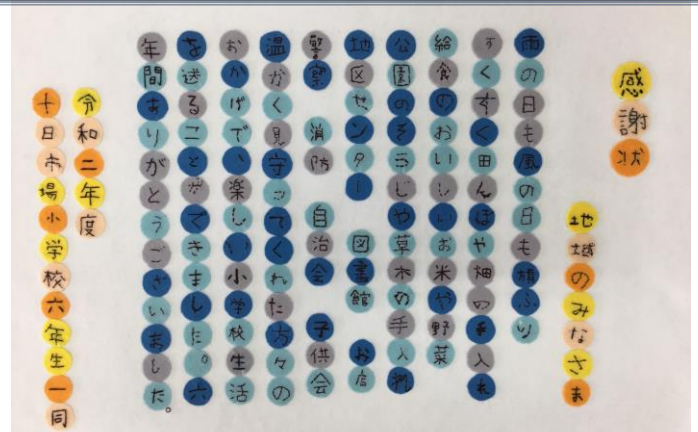
さて、皆さんは、ネルソン・マンデラという人を知っていますか？今から100年ほど前に南アフリカ連邦という国に生まれた人です。その頃、南アフリカ連邦は、肌の色が違うというだけで、黒人が差別され苦しい生活を強いられていました。少数の白人が、住む土地もお金も全て独占していたからです。マンデラさんは、生涯をかけてこの人種差別と闘いました。どんな困難にも、決して屈することなく、考え方の異なる相手とも粘り強く話し合いました。長い闘いの末、マンデラさんは平等を勝ち取り、南アフリカ最初の黒人大統領となります。

でも、その生涯は、うまくいかないこと一失敗の連続でした。長い年月、牢獄に入れられていたこともありました。「生きる上で最も偉大な栄光は、転ばないことではない。最も偉大な栄光は、転ぶたびに、起き上がり続けることにある。」ネルソン・マンデラさんの言葉です。人生の本当の失敗とは、転ぶことを恐れ、何もしないこと。恥ずべきは挑戦しないことだと語っているのです。失敗から立ち直ることで、人は「より強い自分」になれます。勇気を出して一步を踏み出せば、必ず道は開けます。あなた方の周りには、苦しいときにも励まし応援してくれる仲間やご家族、そして先生方がいるはずです。何度でも起き上がる強さ、そして仲間を思いやる優しさを持った素敵なお人になってください。（以下 省略）

新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えない中、来年度の動きもまだまだ流動的ではありますが、しかし、在校生も、2週間後には新しい学年に進級します。良いスタートを切れるような時間を過ごしてほしいと思います。

最後になりましたが、本校の教育活動を支えていただいた保護者や地域の皆様、本当にありがとうございました。来年度も、職員一同、保護者・地域の皆様と手を携えて、のびのびと学び合える、笑顔いっぱいの十日市場小学校を創っていきます。

どうぞよろしく願いいたします。



家庭科の最終単元では、6年生全員が一文字ずつ縫って「感謝状」を製作しました。安全の見守り、すくすく田んぼ、公園の掃除、草木の手入れ、子供会などなど。これまで温かく見守ってくださった地域の皆様へ感謝の気持ちを込め、一針一針、一生懸命に刺繍で文字を作りました。学校前掲示板・駅「みんなの掲示板」に4/1まで掲示します。ご覧いただくと、幸いです。